

## 八学大別科助産専攻「性の健康教室」

# 男女の違い、劇やクイズで 園児に解説、防犯の合言葉も

園児に性犯罪から身を守る合言葉を示す学生



### 八戸

八戸学院大別科助産専攻(高橋雪子別科長)は7日、八戸市の八戸学院幼稚園で「性の健康教室」を開いた。学生4人が講師を務め、年長児34人に寸劇やクイズを交えながら、男女の体の違いや性犯罪から身を守る方法を解説した。

この日の教室では、水着で隠す部分を「プライバシー」と説明し、一体の特に大事な部分で、自分だけが触る場所。お友達とのプライベートゾーンをじろじろ見たり、触ってはいけないよ」と呼び掛けた。

また、知らない大人に「体を見せて」「触らせ」と言われた際の対応として「嫌だ(と言つ)」と「逃げる」「(親や先生に)話す」を合言葉として示した。

教室の後半は高橋別科長が保護者と懇談し、性の教育の仕方などの相談に応じた。

講師を務めた小笠原亜弥さん(22)は「子どもたちがかうなずいたり、こちらをしっかりと見て話を聞いてくれた」と手応えを感じた様子。大高美羽さん(23)は「思っていた以上に子どもたちが話を理解してくれた。練習の成果も発揮できた」と話した。

(上條哲洋)